

平成28年度 学力向上推進プラン 3年

		学年の目標	学年末の児童の様子
基礎・基本	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日2字の漢字練習(1字1P)をし、進度に合わせて小テストを実施します。90点以上を合格とし、全員合格するまで繰り返しテストを行うことで定着させます。</li> <li>・考えながら読み、筋道立てた文章が書けるようにします。単元の初めには読み方を確認しながら読み、音読を繰り返します。また、毎週色々なテーマで作文の宿題を出し、書くことに慣れさせます。</li> <li>・ローマ字の定着ができるようにします。授業の時間が終了した後も、宿題を出して継続して指導を行い、冬休みの課題としてプリントを作成し、定着させ、確認テストを実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員が小テストで合格するまで繰り返しテストを行うことで、1回目の小テストで合格する児童が増えていった。2学期末のテストでは、90点以上を60%の児童がとることができた。</li> <li>・単元の初めに読み方を確認し、授業や毎日の宿題で音読を行うことで、気持ちを考えながら音読ができるようになってきている。また、毎週末に色々なテーマで作文の宿題を出すことで、簡単な文章は書けるようになったが、個人差も大きい。</li> <li>・ローマ字の練習も3学期にも繰り返し行うことで、定着度が増した。</li> </ul>
	算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項を定着させ、90%がワークテストで8割以上を取れるようにします。毎日、計算ドリルやプリントで行い、丸付け・間違い直しまで正しく行えるように取り組ませます。また、授業の中で必要な前時までの事項を確認し、関連付けられるようにさせます。</li> <li>・文章問題を正しく理解できるように、問題の中で「分かっていること」「聞かれていること」を明確にし、図や言葉を使って説明してから問題に取り組ませます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間の授業の初めに、既習事項や前時までの確認をすることで、それを見ながら自分の考えを書ける児童が増えてきた。ワークテストで90%を取れる児童は、少ない。特に「考え方」に課題を感じている児童が多い。「技能」「知識・理解」については、約半数の児童が、90%を取れている。</li> <li>・授業中では、「分かっていること」「聞かれていること」を明確にして、図や言葉を使って説明してから問題に取り組むことができている。しかし、テストの時には、自分で「分かっていること」「聞かれていること」を確認せずに取り組む児童がほとんどである。自分でも明確にしてから問題に取り組むことが定着する様に指導している。</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理由を説明する力を付けさせます。特に、社会科や理科の学習で考えを書く際には、自分の生活体験と結び付け、その体験と関連付けて説明できるようにします。</li> <li>・読書量を増やします。そのために、朝読書の時間や給食準備の時間などを利用し、読書に親しむ時間を増やします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科や理科の学習で、考えを書く際に理由を書くことが徐々に定着してきている。また、様々な発言の場で理由を言える児童が増えてきた。</li> <li>・朝読書の時間や給食準備の時間、雨の日の休み時間等、読書に親しむ時間を確保している。自分から読書をする児童が多い。</li> </ul>

<p>思考力・判断力・表現力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあて、振り返りのある授業を行います。毎時間めあてを板書し、声に出して確認し、1時間の学習感想を書く時間を設定します。</li> <li>・体験したことや調べたことをまとめる力を付けさせます。そのために、社会科や総合的な学習の時間のまとめでは、新聞や作文に表す学習を多く取り入れます。</li> <li>・問題解決の筋道が分かるノート作りができるようにさせます。そのために、1時間の学習の流れを明確にします。また、ノートを定期的に回収し、よいノートを掲示し手本となるようにします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてを確認し、それを元に考えることができている。学習感想に何を書いたら良いか分からない児童がいるので、繰り返し指導をしていく。</li> <li>・体験したことや調べたことを、新聞や作文にまとめることができるようになった。内容は、見たままや聞いたままを書くことに留まっているので、それを元に自分が考えたことや感じたことを書けるように指導している。</li> <li>・よいノートを掲示することで、それを真似するしたり、自分のと見比べたりする姿が見られた。</li> </ul>
<p>学習習慣・学習規律</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習の提出率毎日95%以上を目指します。提出していない児童には声をかけ、休み時間や放課後に行き、習慣付けさせます。</li> <li>・学習の前後に姿勢を正してあいさつをしっかりと行い、休み時間と授業時間のメリハリを付けられるようにします。</li> <li>・話すこと・聞くことができるようにさせます。場に応じた声の大きさと話すこと、相手の目を見て聞くことなどができるように指導を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日90%の児童が家庭学習を提出している。提出していない児童も、休み時間や放課後に行う習慣が付いている。決まった児童が提出していないので、声かけを続けている。</li> <li>・場に応じた声の大きさと話すことを意識して、話すことが徐々にできる様になってきている。相手の目を見て聞くことに課題があるので、指導している。</li> </ul>